

市政最前線

「IT」の世界を体験してみよう

市民情報プラザ

予算化された新たな事業

事業の途中経過

特集のその後

IT（情報技術）が急速に進展する中で、インターネットの普及などにより私たちの生活様式も大きく変わろうとしています。例えば、自宅に居ながらにして買い物ができたり、銀行まで行かなくてもお金の出し入れができたりするなど、便利な生活になりつつあります。市としても行政サービスの内容や提供方法を大きく変えていくことが求められています。また、市民のみなさんが情報社会の利便性を享受できるよう、さまざまな施策に取り組んでいく必要があります。

そのため、「市民情報プラザ」を開設します。これは、多くの市民のみなさんが気軽に立ち寄っていただけるよう、四日市物産観光ホール（近鉄四日市駅高架下）内に設置するもので、来る三月三十日（土）にオープンします。市民情報プラザには、IT関連企業の協力を得て、次のコーナーが設置されます。**地方新聞閲覧コーナー** パソコンを使って、各都道府県の地方新聞を簡単に見ることが出来ます。これに伴って、これまで地方新聞四十七紙をそろえていた「全国地方紙コーナー」は廃止します。**ブロードバンド体験コーナー** 高速大容量のネットワークを使いながら、動画などが快

適に体験できます。

電子社会体験コーナー

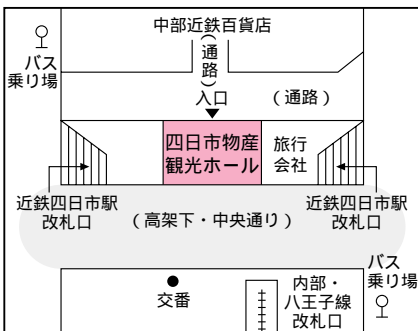
市では現在、市民のみなさんが在宅のまま住民票や印鑑証明を申請できるようなシステムづくりを進めているところです。このコーナーでは、こうした電子社会や電子自治体の未来像を体験することができます。

そのほか、高齢者や障害者に利用していただける各種情報機器を展示するコーナーなどもあります。各コーナーでは、最新のIT技術を数多く提供できるように、年に二、三回のリニューアルも予定しています。

開設時間は、火曜日を除く午前十時から午後七時までです。買い物帰りや駅をご利用の際などに、ぜひお立ち寄りください。

問い合わせ IT推進課

☎54・8106



地震への災害対策はされているのでしょうか…

地域防災計画に基づき対策に取り組んでいます

最近、東海地震や南海地震が注目されていますが、県や市の災害対策は大丈夫でしょうか。

（常磐地区・男性・十歳代）

本市においても、平成七年の阪神・淡路大震災を機に「四日市市地域防災計画」を全面的に見直し、平成八年に新たに「四日市市地域防災計画（震災対策編）」を策定して震災対策に取り組んでいます。この計画では、東海地震や南海地震はもとより、震度七の直

市から

平成七年の阪神・淡路大震災を機に「四日市市地域防災計画」を全面的に見直し、平成八年に新たに「四日市市地域防災計画（震災対策編）」を策定して震災対策に取り組んでいます。この計画では、東海地震や南海地震はもとより、震度七の直

波の影響も懸念されており、三重県においても、昨年十二月に、県と県内の市町村および消防本部により構成する三

あなたの
こえ声
広聴のコーナー

ご意見・ご提案をお寄せください

あて先は
〒510-8601 市役所市民生活課 広聴係
TEL54-8147 FAX59-0284
四日市市公式ホームページ
<http://www.city.yokkaichi.mie.jp>
「市政への提案箱」へ
〔住所・名前を明記してください〕

今回は、インターネット・ホームページ「市政への提案箱」などを通じてお寄せいただいたご質問・ご要望の中から抜粋・要約したものを掲載させていただきます。

平成十四年度「市民活動ファンド」の助成団体を募集

市民活動団体を資金面で支援する助成制度「四日市市民活動ファンド」の平成十四年度分の受け付けが、三月五日（火）から始まり、

三年目を迎える14年度は、従来の「確立期助成」に代えて、新たに「団体基盤整備助成」を設立しました。これにより助成の対象枠が広がり、「立ち上がり期助成」と合わせて、より多くの市民活動団体に活用していただけるようになります。

助成内容は、次のとおりです。
助成対象 市内を中心に公益を目的として活動している、または、活動をしようとしている市民活動団体
助成項目 **立ち上がり期助成**
 公益的な市民活動を新たに始めようとする団体の事業、または、すでに活動している団体が新たに取り組む事業を対象に、一団体五万円以内の事

業総額の九〇%以内)で十団体以内に助成。
団体基盤整備助成
 公益的な市民活動団体が安定して活動を継続していくために、その団体自身の基盤を整備するために行う取り組みに対する助成。例えば、人材の確保・育成のための費用、団体の情報整理や情報発信のための費用、事業の調査研究や実施のための費用など。一団体五十万円以内(費用総額の八〇%以内)で五団体以内に助成。

申し込み 五月七日の午後五時(必着)までに、市民活動センターまたは市役所市民生活課にある申請書に必要書類を添えて、市民活動センターへ**助成の決定方法** 提出された書類と団体自身が企画を発表するプレゼンテーション(五月十八日(土)開催予定)の内容を基に、市民活動ファンド運営委員会が審査して決定します

詳しくは、市民活動センターにある募集要項や市民活動センターのホームページ(<http://www.npocity.yokkai.chinje.jp>)をご覧ください。か、市役所市民生活課(☎54・8117)へお問い合わせください。

第二回市民活動センター利用者連絡会議の参加者募集

市では、市民活動センターが市民活動の拠点施設としてより多くの方にご利用いただけるよう、広く市民のみならずのご意見をお聞きする「市民活動センター利用者連絡会議」を年に二回開催しています。次回の会議は、次のとおり開催されますので、これまで市民活動センターを利用されたことがない人も、ぜひ一度ご参加ください。

日時 三月十七日(日) 午後一時～二時三〇分 **場所** 市民活動センター(蔵町四・十七) なや学習センター(二階) **議題** 市民活動センターへの要望、その他 **申し込み** 市役所市民生活課NPO担当(☎54・8117)へ

重県市町村等地震対策協議会を設立し、震災対策の強化に努めているところです。市としても、今後とも、ソフト・ハード両面からの震災対策強化に努めていきます。防災対策課(市役所8階) ☎54・8119

「広報よっかいち」綴じ穴を開けてほしい

制作工程や費用対効果の面でご理解を...

ご要望
 「広報よっかいち」を毎月綴って保存していますが、県政だより」のように綴じ穴が開いているとファイルしやすくて助かります。さほど経費もかからないと思いますので、市民サービスの観点から綴じ穴を開けてほしいと思います。(橋北地区・男性)

市から
 「広報よっかいち」を「愛読いただきまして、ありがとうございます、ご承知のとおり、」
 「広報よっかいち」は月二回発行していますが、住民のみならずにもっとも身近な自治体である市町村の発行する広報紙の使命は、より身近で鮮度の高い情報を住民のみなさんにタイムリーに、かつきめ細かく正確にお届けすることにあり、編集に努めています。

「綴じ穴」については、これまでにも同様の「ご要望をお寄せ

せいただいております、検討を重ねてきたところです。しかし、綴じ穴を開けるとなると装丁に時間がかかることから、編集作業を二～三日早く終える必要があります。結果的に原稿の締め切り日等も前倒しせざるをえず、お知らせ記事などの掲載にさまざまな支障を来たしてまいります。加えて、月二回、約十一万七千部に綴じ穴を開けるとなると、年間三百万円以上の費用がかかることとなります。

市民サービスの観点からは、綴じ穴を開けることが最善であるということは十分認識しています。しかし、制作工程の問題、また費用対効果の面からも、市民のみなさんが少しでも綴じ穴を開けていただきやすいよう、綴じ穴位置の印刷に留めていますので、ご理解をお願いします。 広報情報課(市役所8階) ☎54・8244